

## 第1回 無料塾および非営利塾シンポジウム 議事録

日時：2014年3月8日（土）15:00-17:00

参加者：7名

場所：八王子市生涯学習センター南大沢分館 視聴覚室

参加費：会場代 200 円、懇親会は実費

## 【シンポジウム開催の目的】

無料塾および非営利塾を今後広めるために、現状、立ち上げのノウハウ、課題などについて情報共有し、意見を交換する。また、無料塾に関心のある人、いま運営している人、今後立ち上げたいと思っている人同士の交流をはかる。

## 【AGENDA】

0. 参加者の自己紹介（10分）
1. 八王子つばめ塾の概要（10-15分）
  - ① 無料塾立ち上げの経緯・目的・理念
  - ② 運営方法と現在の状況
  - ③ 財政
  - ④ 無料塾を立ち上げ運営していく上での課題
  - ⑤ 財政的課題を解決する方法
2. 意見交換座談会（90分）
3. 懇親会

## 【議事録】

1. 八王子つばめ塾の概要
  - ① 無料塾立ち上げの経緯・目的・理念
    - ▶ 経緯  
2012年9月1日立ち上げ
    - ▶ 目的  
家庭の経済格差が次の世代の教育格差につながっているという問題を解決すること。
  - ② 運営方法と現在の状況
    - ▶ 対象の生徒  
中高生。中学生が学力の格差がいちばん開く時期なので中学生をメインに受け入れており、95%が中学生。小学生からも希望があれば個別に受け入れている。
    - ▶ 教科  
5教科あるが、やはり英語と数学がメイン。
    - ▶ 運営形態  
先生と生徒が決まっている「クローズ型」（※オープン型→決まった時間あけており、誰でも参加できる）。平日の授業は先生と生徒のあいだでスケジューリングすることが多い。土日のスケジューリングについては、複数の教科の授業をとっている生徒が多いため事務局が調整を行っており、大変である。

- ▶ 授業の進め方  
先生：生徒＝1:1～3 の少人数個別授業。学校の宿題をおもにすすめる。  
場合によっては塾が用意した教材（市販教材など）を使う。
- ▶ 規模  
生徒 48 人、講師 50 人くらい。
- ▶ 奨学金制度を創設  
塾での指導や運営に携わり、将来の日本を支える、次の時代を担う人材を育成するという目的で創設した。一人親、生活保護、児童保護施設身の生徒が対象。  
返済不要で月 1 万円支給。（現時点で応募はなし）

### ③ 財政

- ▶ 収入
  - ・ 事務局長親族からの寄付：15,000 円
  - ・ 利用者から寄付金をお願いしている  
：500 円/月・1 家庭→全部で 6000-7000 円ほど
- ▶ 支出
  - ・ コピー機、光熱費：数千円
  - ・ 部屋代：6000 円（特別に安く借りられている）
- ▶ 財政の課題は他の塾でもありうる。

### ④ 無料塾を立ち上げ運営していく上での課題

- ▶ 学力向上  
学力をどうやってあげるかのノウハウがまだない。個々の先生的能力だけに頼らず、塾のシステムとして学力を向上できるような仕組みの構築を行っていきたい。
- ▶ まだアクセスできていない生徒層（親が勉強に興味をもっていない子どもなど）にどうアプローチするか？  
まだアクセスしきれていない。現在は、入塾の際に保護者と生徒が一緒に来ることを条件にしているため、いま来ている生徒たちの親御さんは、子供への関心を持っている方たちばかり。
- ▶ 生徒募集の方法  
ホームページ/口コミ→良い授業をしていくことが大事。
- ▶ 場所の確保  
場所代、光熱費を寄付として生徒に負担してもらい、「非営利塾」という形態で対応できる。  
講師はボランティア。
- ▶ ボランティアに必要なもの  
時間・能力・場所・お金。そのうちでお金がいちばん集めにくい。

### ⑤ 財政的課題を解決する方法

- ▶ 「gooddo」の仕組み  
無料塾が利用しやすい。facebook など SNS と連携し、企業の広告費により資金が入ってくる仕組み。
- ▶ gooddo のメリット
  - ・ クリックする人に負担がかからないため、気軽に他の人にすすめられる。
  - ・ 運営側が自分たちでがんばってクリックしてもよい。

- 少額でも毎月の収入が見込める。
- 寄付金でなく広告協賛費として収入になるため何に使ってもよい。
- 非営利塾は受益者負担が難しいが、人数が多い。  
クリックしてもらっただけなので簡単。
- ▶ これまでにあったファンドレイジング  
達成しないと寄付金が発生しない（all or nothing 型）／お礼（手紙等）などの対価が必要  
→非営利塾が利用するのは難しかった
- ▶ 行政からの支援  
人件費に使えない／飲食費に使えない／PC 購入などの固定費に使えない  
→大きなイベントをするにはいいが、継続的に少額の資金が必要な団体には不向き

## 2. 意見交換座談会（60分）

- ▶ ボランティア保険の加入  
個人宅を借りている場合などで何かあった場合（けが、器物損壊）にどう対応するか？  
→つばめ塾はボランティア保険には入っておらず、自己責任ということにしている。  
今後要望があれば導入を検討したい。
- ▶ なぜつばめ塾は NPO 法人化したのか？
  - 目的：無料塾のネットワークをつくりたいと考えており、その中核になる団体としての信頼を得るとのこと／理事、監事を入れてより公の団体にしたいということ／将来的に市の受託事業をする場合などに必要になる可能性があること。
  - 法人化のメリット：社会的信用が得られる。Gooddo などの審査が早い、銀行口座開設なども簡単。
  - 大変だったこと：書類、とくに定款を作ること／平日昼間に役所に行く必要があること。  
※教育系からはじまる団体で NPO 法人格をもっている団体は少ない（メリットが少ないため？）
- ▶ どうやったら学力を向上できるか？  
やる気を上げて家でもやってもらうようにする／ちょっと寄り道して関連する雑談をすることで、勉強を楽しいと思ってもらう
- ▶ 個人情報の取り扱い  
成績、家庭の状況などのデータを集めることは大事だが、セキュリティ、プライバシーには気をつけなければならない。ただ、データを集めて共有することで、指導の質が上がっていくのではないか。
- ▶ 指導の進捗の確認  
講師が毎週変わるという場合もあり、講師間での生徒のレベル把握、スケジュール共有は必須となるが、まだうまくできていない部分も多い。→担任制（講師は一人でも複数でも可）にして講師を固定化することで情報共有しやすくなるのではないか
- ▶ 親御さんにも子供の勉強に参加してもらう  
親御さんへ、家庭の状況や子供の勉強に関するアンケートをとってみるといいのではないか。

以上

（文責 八王子つばめ塾事務局長）